

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立三里塚小学校 第3学年 76名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（社会科、総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生における社会科の札幌市について学ぶ学習と関連付け、札幌市の特色や歴史について関心をもち、調べたり考えたりすることができる。 ・オリンピック競技に興味関心をもち、自分自身の体力増進やスポーツに対する意識を高めることができる。
5 取組内容	<p>○指導計画【9時間扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしのまち みんなのまち 小単元2 市の様子 8時間中最後の2時間 「オリンピックミュージアムってどんなところかな」 ・社会科現地学習・総合的な学習の時間 5時間 「大倉山から札幌市をながめてみよう」「オリンピックミュージアムで体験しよう」 ・総合的な学習の時間 2時間 「オリンピックミュージアムのまとめをしよう」 <p>○取組の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アテネオリンピックバスケットボール女子代表、矢代直美さんからのお話。「無理と云わない こと」「何でも挑戦すること」「あきらめず努力すること」を学ぶことができた。 ・展示コーナーを見学し、担当の方の引率のもとその丁寧な説明から、オリンピックの歴史と意義について学ぶことができた。



	<ul style="list-style-type: none"> ・体験コーナーで、冬季オリンピック競技の疑似体験活動。小グループで存分に活動にひたることができた。 ・オリンピックの競技だけではなく、オリンピックが開催されたことで、札幌の街が大きく発展したことなど、たくさんのことを学ぶことができた。 ・午後は、リフトに乗ってジャンプ台の展望デッキへ。札幌の街を一望し、改めて社会科で学習したことを自分たちの目で確認することができた。 ・帰校後、振り返りシートを使い、絵と文章で今回の展望台とミュージアム見学の学習のまとめをすることができた。 	  
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまであまり意識することがなかったオリンピックについて、多くの児童が興味関心をもつきっかけとなった。 ・オリンピックから直接お話を聞くことで、「あきらめず努力すること」等、人としての生き方を学ぶことができた。 ・冬季オリンピック競技の疑似体験をすることで、オリンピック競技やスポーツに興味関心をもつことができた。 ・施設や展望台見学を通して、自分たちが住む札幌を学ぶことができた。 	
<p>7 実践において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕をもった時程を組むことで、それぞれの活動に余裕をもって取り組ませるようにした。 ・体験活動は、少人数のグループ活動とし、時間も十分にとることで存分に活動にひたらせるようにした。 	
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の時間と総合的な学習より時数を確保し取組を進めたが、横断的な指導の関連付けや活動の意義付けが不十分であった。イベント的な学習とならないよう、目標をしっかりと設定し教育課程の中に位置付けたうえでの実践としていく必要がある。 ・事前の打ち合わせが遅くなってしまい、リフト代の徴収について混乱を招いてしまった。早目の打合せが必要である。 	
<p>9 今後の取組について</p>	<p>今回の活動のオリンピックの話を受け、道徳学習の一助としていく。また、オリンピックに関わる学習と関連付けられる活動を精査し、2020年に向けた指導の充実を図っていく。</p>	

